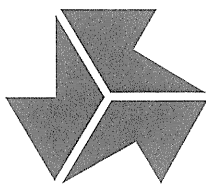


高体連マークの由来



このマークは、全国高体連が発足して、間もなく作成されたものであって、若人の力と技と明朗な精神を象徴するものである。

競技は力であり、進歩は技の錬磨にまつ、競技者はこれをつつむに明朗な精神をもってせねばならない。

高体連のマークを構成している三つのKは紅色によって浮き出され、若人の情熱を示す次のようなドイツ語の頭文字をとったものである。

力 KRAFT 技 KUNST 明朗な精神 KLARHEIT

このマークは、高体連旗となって、全国大会はもちろんのこと、高体連の主催による大会には必ず会場にみかけることと思う。

高体連の歌

作詞 増田 文雄

作曲 小松 清

深刺と ♩ 104

mf

あけ ゆく おお ぞら あか ねの あさの ひ あー

おぐ こ こ ろ は さ や か に は れ て と

も に か た く み き ー た ー え ゆ く い ー

の ち は つ ら つ い き あ が る

ff

と も よ い ざ つ ど い な ん

こ う た い れん こ う た い れん わ れ ら わ か し

一、あけゆく 大空

あかねの 朝の陽

仰ぐ心は さやかに晴れて

ともに肩組み 鍛えゆく

生命はつらつ 意気あがる

友よいざつどいなん

高体連 高体連 われら若し

二、さみどり萌えたつ

希望の この土

しかと踏みしめ 大気に伸ばす

この手 この脚 躍進の

ちから溢れて 血はおどる

友よいざつどいなん

高体連 高体連 われら若し

三、世紀のひかりは

野山に 波路に

うた声たかく こだまとひびき

たゆまぬ努力 技を練る

行手はまれの 花かおる

友よいざつどいなん

高体連 高体連 われら若し

(昭和三十二年七月十五日制定)